



カケハシ・プロジェクト（米国） 沖縄プログラム派遣第1陣（宮古高等学校）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

沖縄プログラムは日米両国の高校生による相互交流プログラムであり、今回は、沖縄県立宮古高等学校の生徒及び引率者10名を、日米に対する理解促進を目的として、米国マサチューセッツ州へ派遣しました。米国滞在中は、現地総領事館への訪問や、企業視察、学生との交流やホームステイを通じて、日米関係や両国の経済関係について学び、日米両国の友好・信頼関係を深めました。異なる文化や習慣に触れながら学びや気づきを得るとともに、交流先で出会う人々に向けて日本そして沖縄の魅力を伝えました。

【参加者】沖縄県立宮古高等学校の生徒9名及び引率者1名 合計10名

【訪問地】米国 マサチューセッツ州ボストン、ウェストン

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

12月19日（木曜日） 【渡航前オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等

■ 派遣プログラム：

1月15日（水曜日） 成田国際空港より出国、ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際
空港（マサチューセッツ州ボストン）より米国入国
【オリエンテーション】

1月16日（木曜日） 【表敬訪問】在ボストン日本国総領事館 総領事 高橋 誠一郎 氏、
領事 吉田 千枝子氏
【視察】マサチューセッツ州会議事堂、フリーダム・トレイル
【企業訪問】Food's Style USA Inc., Vice President-COO 伊郷 TAKAHIRO 氏

1月17日（金曜日） 【学校交流】The Cambridge School of Weston
【ホームステイ】The Cambridge School of Weston の生徒家庭

1月18日（土曜日） 【ホームステイ】The Cambridge School of Weston の生徒家庭
【視察】ハーバードスクエア、ハーバード大学

1月19日（日曜日） 【学校交流】The Cambridge School of Weston
【ワークショップ】報告会準備（プログラムの学びや気づきのまとめ、帰国後の
活動計画（アクション・プラン）の作成）

1月20日（月曜日） 【報告会】訪米成果・帰国後の活動計画発表
【視察】ボストン科学博物館

1月21日（火曜日） ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港（マサチューセッツ
州ボストン）より出国

1月22日（水曜日） 成田国際空港より入国

2. 記録写真



2025 年 1 月 16 日【表敬訪問】在ボストン日本国
総領事館 総領事 高橋 誠一郎 氏、
領事 吉田 千枝子氏



2025 年 1 月 16 日【視察】
マサチューセッツ州会議事堂



2025 年 1 月 16 日【視察】フリーダム・トレイル



2025 年 1 月 16 日【企業訪問】
Food's Style USA Inc.



2025 年 1 月 17 日【学校交流】
The Cambridge School of Weston



2025 年 1 月 17 日【学校交流】
The Cambridge School of Weston



2025 年 1 月 18 日【視察】
ハーバードスクエア、ハーバード大学



2025 年 1 月 19 日【ワークショップ】

	
2025 年 1 月 20 日【報告会】	2025 年 1 月 20 日【報告会】集合写真
	
2025 年 1 月 20 日【視察】ボストン科学博物館	2025 年 1 月 20 日 沖縄在住の参加者にとって初めての雪

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

ホームステイでの交流がとても充実していました。家で米国のカントリー音楽を楽しんだり、図書館に行ったり、ホストファミリーの高校生がバイトしているカフェに行ったり、日曜の朝、教会に行ったりしたことが印象に残っています。教会には、大人だけでなく、家族で来ている人たちもいて、ミサがとても賑やかでした。また、歌うだけでなく、近くの人と自己紹介する時間があり、沖縄に住んでいたことがある米国人に出会えた事に驚きました。

◆ 高校生

The Cambridge School of Weston との交流がとても良い経験になりました。実際に米国の学校を体験し、学びに対する価値観が変わりました。また、生徒達と関わる中で感じた、彼らのポジティブなマインドやフレンドリーな性格がとても印象に残っています。

◆ 高校生

訪れた国の歴史や文化などを学ぶだけでなく、日本の領事館や企業を訪問することで現地との国際的な繋がりやビジネスについての勉強ができたことが良かったと思います。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先関係者

生徒たちは私の話を熱心に聞き、質問も多く、米国でのビジネスに非常に興味を持っていると感じました。また、日本食を楽しんでくれているようでした。

◆ 交流校教師

2年続けて沖縄の学校との交流しましたが、すべての瞬間を本当に楽しむことができました。生徒達はとてもフレンドリーで親切でした。今後も引き続きこのような機会があることを希望します。

◆ 交流校生徒

学校で沖縄から来た生徒、一人ひとりと交流できたことが本当に楽しかったです。ボストンの学生生活について教えてあげました。とても楽しく、充実した経験でした。短い時間しか一緒に過ごせませんでしたが、春に日本を訪れて、新しい友達と再会できることをとても楽しみにしています！

◆ ホストファミリー

本当に楽しかったです。参加者と一緒にとっても気持ちよく過ごせました。参加者は明るく、我々家族の生活にも楽しそうに積極的に参加してくれました。いつかぜひ日本、ひいては沖縄県を訪れたいと思っています。将来、また私たちを訪ねてくれること、そして可能であればご家族も一緒に来てくれることを願っています！

5. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2025 年 1 月 16 日（Instagram） 今日は在ボストン日本国総領事館、マサチューセッツ州会議事堂、フリーダム・トレイル、Food's style（らーめん山頭火）を訪問してきました。ボストンに携わる日本人の方々の仕事内容、ボストンの歴史など、沢山のことを学べた有意義な 1 日でした。	2025 年 1 月 17 日（Instagram） 本日、ついに The Cambridge School of Weston との交流がありました！プレゼン本番では多少の機材トラブルはあったものの、全員が練習の成果を発揮することができ、現地の反応も良く大成功に終わりました。また、今日から 2 日間ホームステイが始まります。米国のリアルな生活を体験しながら更に成長できる 2 日間にしていきたいです。



2025 年 1 月 18 日 (Instagram)

今日は The Cambridge School of Weston の生徒たちとハーバード大学とその周辺の見学、散策をしてきました。ハーバード大学は米国最古の高等教育機関であり、世界でも最も知名度と評価が高い大学の一つです。今回館内に入ることはできませんでしたが、赤レンガに囲まれた敷地内はとても綺麗で趣がありました！現地の同世代と交流をすることで若者に人気の場所、言葉など実際に行かないとわからないことをたくさん知ることができました。



2025 年 1 月 20 日 (Instagram)

今日は昨日作成したスライドを元に zoom で報告会を行いました。作成したスライドの内容は、技術について、暮らしについて、学校についての 3 つを各自が文化の違いで気づいたことなどからまとめ、最後にはアクション・プランを発表しました。昨日 1 日で作成したのにも関わらず、全員がしっかり堂々と発表することができました！そして、報告会後にはボストン科学博物館へ向かいました。宮古島にはここまで大きい博物館はないため、体験型のブースや迫力のある展示は私たちにとても新鮮で、大いに楽しむことができました。

6. 報告会での訪米成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 1 グループ発表

	We have to make your reply clear.  •Would you like some ○○○○? •Do you want to go to ○○?	Action plan. Kakehashi gallery 
【成果の発表】 ・ 米国では、センサーで出てくるペーパータオルや日本とは違う縦型の信号機に驚きました。 ・ ボストンは独立戦争で有名な場所ですが、英雄ポール・リビアと宮古島の久松五勇士に意外な共通点があることに気づきました。 ・ 米国では、意思表示は曖昧な返事ではなく、はっきりとする必要があると身をもって感じました。 ・ 米国の食事はボリュームがあってエネルギーをたくさんくれます。ホストファミリーと食事をシェアできて楽しかったです。 ・ 米国人は、感謝の言葉など、ポジティブな言葉を声に出すことが多くとても嬉しかったです。また、家族に愛を伝える習慣など、感情を表現する文化だと思いました。 ・ 高校生でも政治にとっても興味を持っており、話題にしていることは日本の高校生と違うと思いました。The Cambridge School of Weston は自由な校風で、生徒たちの勉強に対するポジティブなマインドと自立した行動に感銘を受けました。また、環境に対する積極的な取り組みもすばらしいと思いました。 【アクション・プラン】 ・ 2 月に全校生徒に向けて報告会を実施します。 ・ 私たちの経験を多くの人に伝えるため、学校にカケハシ・ギャラリーを設けて、ボストンで撮った写真などを 1 か月ほど展示します。 ・ The Cambridge School of Weston と宮古高校の生徒たちで、長期休み中などお互い時間に余裕がある時を見つけて、3 か月に 1 回を目処にオンラインミーティングを行います。 ・ よりお互いのことを知れるように、To be Kakehashi bridge という YouTube のアカウントを立ち上げ、SNS で繋がった友達と関係を継続していくためのプラットフォームを作り、参加者が Vlog を投稿できるようします。		

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）